

件名	27陳情第1号 CV22オスプレイの配備に反対することを求める陳情
<p>(陳情事項)</p> <p>米政府は5月9日横田基地にCV22オスプレイを配備する方針を明らかにし、12日日米両政府が正式に配備すると発表した。これは本土への初の常駐化である。基地周辺の自治体にも何の説明もなく、住民無視の一方的なやり方でありとても容認できない。</p> <p>沖縄の基地軽減と言いながら沖縄にCV22の作戦部隊があり、沖縄の負担軽減にならないだけでなく、横田周辺に多大な訓練による被害が増大化する。特に低空飛行訓練や夜間飛行訓練も実施することになっていると中谷防衛相も米国の発表の通り明言している。菅官房長官も横田配備の実現性はないと否定していたのに、米国の利益を優先するかのように配備を認め、日本の国民を守る義務を果たしていない。</p> <p>空軍仕様のCV22の事故率は13,47でMV22の1,93と比べても高い。横田でのパラシュート訓練でもオスプレイを使った訓練が日常化する。特にCV22は急襲作戦用の特殊作戦部隊であり、山々谷の地形に沿った低空飛行が得意で、狭山丘陵や奥多摩の山の上空、そして横田から広大な周辺空域を使って住宅の上空が訓練の場となる可能性が高い。広範囲の住民が危険にさらされる。さらに米国防省は最新鋭ステルス戦闘機F35の整備拠点を近い将来横田配備とすることに言及しており、横田基地の存在が住民に大きくのしかかってくる。</p> <p>今回のCV22オスプレイの横田基地の配備は住民の生活を根本から脅かすものであり、断固反対である。住民の生活環境と命を守る立場から、瑞穂町議会は周辺自治体・議会と連携してオスプレイの横田基地配備に反対する意見書を関係機関に提出することを求める。</p>	